



和訳文

BNP パリバ・グループ

2009年度第2四半期決算報告書

優れた利益創出力を証明

	当四半期	前年同期比	前四半期比
グループ帰属純利益	16億400万ユーロ	6.6%増	3.0%増
株主資本利益率 今年度上半期の税引後年率換算ベース	11.8%	(前年度上半期は15.8%)	
1株当たり中間純利益	2.9ユーロ	(前年度上半期は3.8ユーロ)	

全事業部門が極めて好調な業績を達成*

*BNP パリバ・フォルティスを除く

	当四半期	前年同期比
営業収益	90億4400万ユーロ	20.1%増
営業総利益	40億6100万ユーロ	44.7%増
リスク費用	-20億3900万ユーロ	207.1%増
営業利益	20億2200万ユーロ	5.6%減

BNP パリバ・フォルティス：統合は順調に進み、重要な初貢献

当グループの純利益への初貢献額：2億6100万ユーロ

BNP パリバは新たな局面に突入

- 4つの国内市場(ベルギー、フランス、イタリア、ルクセンブルク)における顧客総数：1300万人
- ユーロ圏で最大の預金残高：5400億ユーロ
- 運用資産：7000億ユーロ超
- コーポレートバンキング・投資銀行事業部門では欧州におけるリーダーに

ソルベンシーがさらに強化

	2009年6月30日	2009年3月31日	2008年12月31日
TIER 1 比率	9.3%	8.8%	7.8%

BNP パリバ取締役会は 2009 年 8 月 3 日に開催されました。ミシェル・ペブロー会長が議長を務め、当グループの第 2 四半期の決算および上半期の財務諸表が取締役会により承認されました。

純利益が 16 億ユーロに達し、当グループの優れた利益創出力を証明

経済の悪化は続いているものの、市場が徐々に正常化し始めたという状況の中、BNP パリバ・グループは再び堅調な業績を達成しました。純利益(グループ帰属分)は 16 億 400 万ユーロとなり、2008 年度第 2 四半期比では 6.6%増、また 2009 年度第 1 四半期比では 3.0%増となりました。

この優れた利益創出力は、リスク費用が、第 1 四半期と同様の高い水準であったにもかかわらず、全事業部門が極めて好調な業績を達成したことによるものです。

当グループの連結営業収益は、2008 年度第 2 四半期比 32.9%増の 99 億 9300 万ユーロとなりました。営業費用の増加割合は 19.9%に抑えられたため、営業総利益は、2008 年度第 2 四半期比 56.7%増の 41 億 7500 万ユーロとなりました。リスク費用が大幅に増加したにもかかわらず、営業利益の減少割合は 8.6%に抑えられ、税引前利益は、2008 年度第 2 四半期比 4.6%増の 21 億 7000 万ユーロとなりました。

2009 年度上半期における当グループの営業収益は 194 億 7000 万ユーロ(2008 年度上半期比 30.6%増)、グループ帰属純利益は 31 億 6200 万ユーロ(2008 年度上半期比 9.3%減)、普通株式 1 株当たり中間純利益は 2.9 ユーロでした。また年率換算株主資本利益率は 11.8%(2008 年度上半期は 15.8%)でした。

極めて好調な業績

依然として厳しい経済情勢が続く中、当グループの全事業部門は引き続き事業を発展させ、当グループの業績に貢献しました。これにより BNP パリバは、自行の統合的な銀行モデルは厳しい環境の中でも健全性を維持できることを証明しました。

コーポレートバンキング・投資銀行(CIB)事業部門

対顧客ビジネスの堅調な推移と、2008 年度第 4 四半期に開始された CIB 事業部門の再ポジショニングの成功により、当事業部門は当四半期において再び卓越した業績を達成しました。

当事業部門の営業収益は 33 億 5100 万ユーロとなり、2008 年度第 2 四半期比では急増(80.9%増)したものの、記録的水準であった 2009 年度第 1 四半期比では 9.3%減少しました。

資本市場業務においては、対顧客ビジネス(特にフロー商品関連)が、正常化が進む市場において好調を維持し、市場リスクもさらに低下しました(平均四半期 VaR は 5200 万ユーロ(2009 年度第 1 四半期は 6900 万ユーロ))。

フィクスト・インカム業務部門の営業収益は 19 億 3100 万ユーロとなり、当四半期も極めて好調でした。これは、依然として活発な投資家からの需要や好ましい市場環境により牽引されたものです。この市場環境は、クレジット・スプレッドの縮小や、第 1 四半期の水準と比べると縮小したものの依然として開きの大きいビット・オファー・スプレッドなどに起因するものです。CIB フィクスト・インカム業務部門は、当四半期においてもユーロ建て社債の発行額で第 1 位を獲得しました。

株式およびアドバイザリー業務部門は、今年度第 1 四半期における新たな市場環境に対してエクスポージャーを調整したため、当四半期のビジネスは通常に戻りました。辛うじて黒字化できた今年度第 1 四半期とは異なり、当四半期の営業収益は 7 億 1000 万ユーロに達しました。これは、機関投資家からの需要やヘッジ・ファンド業務の回復により牽引されたものです。フロー商品に対する高い需要に加え、仕組み商品を簡単かつ容易にヘッジすることに対する顧客の興味も徐々に回復しています。資本調達市場が極めて活発な中、BNP パリバは、多くの証券発行に伴うブックランナー業務を受託しました。

ファイナンス業務部門の営業収益は合計で 7 億 1000 万ユーロとなり、2008 年度第 2 四半期と比べ安定推移しました。これは、融資実行時における厳格な与信基準や、顧客および国のリスク特性改善に伴うものです。特にアクイジション・ファイナンスやコモディティ・ファイナンスが好調でした。資本管理をより効率化するための取り組みの一環として、当業務部門への配分資本が 2008 年度第 2 四半期と比べ 11.2%減少しました。

当事業部門の営業費用は 14 億 6700 万ユーロとなり、当時の営業収益水準からすると低水準であった 2008 年度第 2 四半期と比べ 16.8%増加しました。連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を除外し、変動対価を除外した場合の営業費用は、2009 年度の期首に開始したコスト削減策に従い 1.5%減となりました。削減目標の 50%超が既に達成済みです。また当該費用は、2009 年度第 1 四半期比では 17.1%減少しました。これらの推移は、CIB 事業部門の営業費用の柔軟性を改めて証明しました。

リスク費用は 7 億 4400 万ユーロとなり、極めて低水準であった 2008 年度第 2 四半期比では 6 億 5800 万ユーロ増加しましたが、2009 年度第 1 四半期比では少ない増加額(4700 万ユーロ増)に留まりました。資本市場業務におけるリスク費用は 2 億 9700 万ユーロとなり、2008 年度の金融危機の最中に達した水準を大幅に下回りました。また市場が正常化に向かっているため、今年度第 1 四半期比でも 2000 万ユーロの増加に留まりました。景気後退の影響を受けたファイナンス業務におけるリスク費用は相当な金額(4 億 4700 万ユーロ)に達しました。特筆すべき引当金は、LBO 関連の 1 億 900 万ユーロと湾岸諸国関連の 1 億 300 万ユーロです。2009 年度第 1 四半期比では 2700 万ユーロの増加に留まりました。

税引前利益は 11 億 4500 万ユーロ(2008 年度第 2 四半期は 5 億 2300 万ユーロ、2009 年度第 1 四半期は 12 億 2900 万ユーロ)となり、極めて好調でした。業績が好調であったのに加え、特に市場関連リスクの減少が原因で、配分資本が 2009 年度第 1 四半期と比べ 10.5%減少しました。

2009 年度上半期における CIB 事業部門の営業収益は 70 億 4700 万ユーロと記録的な水準(2008 年度上半期は 31 億 6300 万ユーロ)に達し、税引前利益の合計は 23 億 7400 万ユーロ(2008 年度上半期は 8 億 4100 万ユーロ)となりました。

当事業部門の極めて堅調な業績は、卓越したフランチャイズや、新たな市場環境への優れた適応力を示しています。これは、VaR のさらなる低下により裏づけられている通り、新たなリスクを取ることなく極めて強い顧客からの需要と、効率的な資本管理に起因します。

資産運用および証券管理事業部門

BNP パリバの資産運用および証券管理事業部門のフランチャイズの高い魅力は、極めて高水準となった純資産流入額(65 億ユーロ)により当四半期においても証明されました。資産運用業務部門における資産流入額の合計は 20 億ユーロ(今年度第 1 四半期は 88 億ユーロ)となりました。これは、短期金利が下落し、マネー・マーケット・ファンド商品への資産流入が一時的に落ち込んだためです。しかしこの事実は、当四半期においても 20 億ユーロの純資産流入を確保した保険業務部門にはプラスに働きました。資産管理(富裕層向け資産運用)業務部門における 25 億ユーロの資産流入は主にフランスやアジアからのもので、当四半期における年率換算資産流入率を 7.1%という相当の水準に押し上げました。この好調な資産流入は、Insinger de Beaufort の統合による業績への好影響や連結範囲へのプラス効果と共に、2009 年 6 月 30 日現在の運用資産額を 5440 億ユーロ(2009 年 3 月 31 日現在では 5100 億ユーロ)に押し上げました。

資産運用および証券管理事業部門は、金融危機のあらゆる局面において好調な資産流入を維持できたため、2008 年度第 2 四半期比での営業収益の減少割合は 13.5%に留まり、12 億 700 万ユーロを確保できました。資産管理(富裕層向け資産運用)業務部門の営業収益は、取引量の減少やマネー・マーケット・ファンド商品の比率が高いことに起因する利益率の低下の影響を受け、8.3%減少しました。証券管理業務部門の営業収益は、評価額の下落や純利鞘の収縮が原因で 13.2%減少しました。保険業務部門の営業収益は、期間中における株式市場の下落の影響を受け、22.7%減少しました。

全業務部門で実施したコスト削減策が功を奏し、営業費用は当四半期においても減少しました(2008 年度第 2 四半期比 2.5%減)。

フランスとイタリアの国内プライベート・バンキングによる純利益の 3 分の 1 を追加した後の税引前利益は 3 億 1900 万ユーロとなり、前年同期の 5 億 3600 万ユーロよりは減少したものの、2009 年度第 1 四半期比では 5.6%増加し、回復しつつある市場のおかげで若干改善されました。

2009 年度上半期における当事業部門の営業収益は、高水準であった 2008 年度上半期比で 11.5%減となる 23 億 5400 万ユーロとなりました。営業費用は 2.7%減少しました。税引前利益の合計は 6 億 2100 万ユーロ(2008 年度上半期は 9 億 6600 万ユーロ)でした。

全業務部門でプラスとなった純資産流入額は 200 億ユーロ(2008 年度上半期は 40 億ユーロ)に達し、年率換算資産流入率を 7.9%という著しい高水準に押し上げました。

リテール・バンキング

フランス国内リテール・バンキング(FRB)事業

経済環境が悪化する中、フランス国内リテール・バンキング事業は、力強いセールスおよびマーケティング牽引力を維持しました。ローン残高は全ての顧客セグメントで増加し、2008 年度第 2 四半期比 5.4%増となりました。純預金流入は極めて好調に推移し、74 億ユーロ増(2008 年度第 2 四半期比 7.8%増)となりました。要求払い預金の増加(9.9%増)も、有利な影響をもたらしました。

投資信託残高については、フランス国内リテール・バンキング事業の市場占有率は、2008 年 6 月 30 日比 1.5 ポイント¹増となり、生命保険商品における総資産流入は、2008 年度第 2 四半期比で 9%増加しました(市場の平均増加率は 6%²)。

営業収益は 2008 年度第 2 四半期比 1.1%³増の 15 億 3000 万ユーロとなりました。これは、好調な仲介業務による受取利息純額の増加(7.6%)により牽引されました。金融貯蓄商品が牽引する事業にとって極めて不利な状況の中、手数料収入が 6.6%減少しました。

営業収益は好調を維持し、0.5%³減少した営業費用と共に、コスト／インカム率を 1 ポイント改善(64.1%³)させ、営業総利益を 2008 年度第 2 四半期比で 4.0%³増加させました。

リスク費用の増加(特に法人および個人の起業家セグメントにおける増加)により、当四半期の引当金は、リスク加重資産の 51 ベーシス・ポイント⁴(2008 年度第 1 四半期は 35 ベーシス・ポイント⁴、2008 年度第 2 四半期は 15 ベーシス・ポイント⁴)となりました。

フランス国内プライベート・バンキングによる純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業部門に配分した後、PEL／CEL の影響を除いた FRB の税引前利益は 3 億 9400 万ユーロ(2008 年度第 2 四半期は 4 億 6100 万ユーロ)となりました。

2009 年度上半期における営業収益が 0.8%³増加し、営業費用が 0.5%³減少したため、1 ポイントの目標を上回るジョーズ効果が生じました。リスク費用は 2008 年度上半期比 29 ベーシス・ポイント⁴増の 43 ベーシス・ポイント⁴となりました。フランス国内プライベート・バンキングによる純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業部門に配分した後の税引前利益は 8 億 3800 万ユーロとなり、リスク費用が増加したにもかかわらず 11%減に留まりました。

BNL バンカ・コメルシアーレ(BNL bc)

BNL bc のビジネスは引き続き成長しました。当四半期における個人の当座および預金口座の純増数は 1 万 7000 口座で、今年度上半期中における新規口座開設数は 3 万 4,000 口座となりました。当四半期には資産流出⁵が見られた市場において、生命保険商品や投資信託の純資産流入はプラスとなりました。

ローン残高は 6.7%増加(40 億ユーロ増加)となりました。好調な商業ビジネスやクロス・セリングの増加は、厳しい経済環境にもかかわらず 2008 年度第 2 四半期比 5.3%⁶増となった 7 億 2100 万ユーロの営業収益に寄与しました。

営業費用の微増(0.2%⁶)も、コスト／インカム率の 3 ポイントの改善(59.8%⁶)に寄与しました。この結果、事業計画に基づき、コスト／インカム率は 3 年間で 10 ポイント超減少したことになります。

この好調な業績は、営業総利益の 13.7%⁶増(2 億 9000 万ユーロ)に反映されています。

リスク費用は 97 ベーシス・ポイント⁴となり、低水準(48 ベーシス・ポイント⁴)であった 2008 年度第 2 四半期と比べ大幅に増加しました。この悪化は、主に法人および個人の起業家セグメントによるものです。

¹ 出典：Europerformance

² 出典：FFSA

³ フランス国内プライベート・バンキングの 100%に関して、PEL／CEL の影響を除く

⁴ バーゼル I 基準に基づくリスク加重資産

⁵ 出典：Assogestioni

⁶ イタリア国内プライベート・バンキングの 100%に関して

イタリア国内プライベート・バンキングによる純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業部門に配分した後の BNL bc の税引前利益は 1 億 4500 万ユーロ (2008 年度第 2 四半期は 1 億 8700 万ユーロ) となりました。

2009 年度上半期における営業収益は 5.2%⁶増加し営業費用は安定化したため、営業総利益は 2008 年上半期と比べ 13.7%⁶増加し、ジョーズ効果が 5 ポイントの目標を上回る 5.2 ポイントとなりました。イタリア国内プライベート・バンキングによる純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業部門に配分した後の税引前利益は 3 億 3600 万ユーロとなり、リスク費用が増加したにもかかわらず 7.7%の減少に留まりました。

バンクウエスト

不動産業界における危機や米国経済の大幅な後退の渦中で、バンクウエストは状況に適応するための取り組みを継続しました。連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を除外した場合の営業収益は、2008 年度第 2 四半期比 1.4%減(連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を含む場合では 12.2%増)の 5 億 4400 万ユーロとなりました。3.06%となった純利鞘の 13 ポイントの減少は、その一部のみが、ローン残高の増加分(4.3%⁷)や、コア預金の増加分(12.0%増⁷)により相殺されており、経済危機により手数料収入が圧迫されました。

営業費用は、事業再構築費用や、銀行業界において必要となった預金保険にかかる FDIC の評価費用の急増が原因で 12.3%⁷増加しました。これらの要因を考慮しなかった場合、営業費用は、連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を除外した場合で 2.2%⁷の減少となります。この減少の原因の一部は、2010 年度末までに費用を 1 億ドル減らすために実施されたコスト削減策の当初の効果によるものです。

リスク費用は当四半期においても増加し 286 ベーシス・ポイント⁴(2008 年度第 2 四半期は 138 ベーシス・ポイント⁴、2009 年度第 1 四半期は 277 ベーシス・ポイント⁴)となりました。2009 年度第 1 四半期比での増加は、ローン・ポートフォリオに伴う特定のリスク費用が安定化した一方、投資ポートフォリオに新たな減損が生じたことによるものです。

この高いリスク費用は税引前利益に悪影響を及ぼし、合計 7,000 万ユーロの税引前損失が生じました(2008 年度第 2 四半期は 1 億 1500 万ユーロの利益)。

2009 年度上半期における連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を除外した場合の営業収益は 2.6%減少(連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を含む場合では 10.9%増加)し、7.7%増加(連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を含む場合では 23.0%増加)した営業費用と共に、営業総利益を、2008 年度上半期と比べ 13.5%減少(連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を含む場合では 1.9%減少)させました。リスク費用は 282 ベーシス・ポイント⁴(前年同期は 121 ベーシス・ポイント⁴)となり、税引前損失 9900 万ユーロ(FDIC の評価にかかる 1 回限りの増加額を除外した場合は損失 7300 万ユーロ)が生じました(前年同期は 2 億 6600 万ユーロの利益)。

⁷ 連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を除外した場合

エマージング・マーケット・リテール・バンキング

エマージング・マーケット・リテール・バンキング部門は、悪化した事業環境に適応するための取り組みを積極的に進めました。特にウクライナでは、今年度第 1 四半期中に 81 の支店が閉鎖され、当四半期中には 69 が閉鎖されました。UkrSibbank の現在のローン残高合計は、事業再構築やローン回収により 41 億 8000 万ユーロ (2008 年 9 月 30 日現在では 51 億 8000 万ユーロ) となっています。増資や、我々の現地パートナー 2 社のうち 1 社の株式持分の買取りにより、当グループの持分は、当四半期中に 81% に増加しました。

エマージング・マーケット・リテール・バンキング部門全体の営業収益は、ウクライナにおける減収の影響を受けたにもかかわらず、2008 年度第 2 四半期比 0.9% 増 (連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を除外した場合 7.4% 増) の 4 億 4400 万ユーロとなりました。営業収益は好調を維持しました。これは、特に、預金残高の増加 (連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を除外した場合で前年同期比 10.7% 増)、ローン残高の増加 (連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を除外した場合で前年同期比 7% 増)、自社従業員に銀行口座を付与する企業との契約により顧客を獲得できたことによるものです。営業費用は、事業環境に照らして適切なペースで投資を継続できたため、2.9% 増加 (連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を除外した場合 11.3% 増加) しました。

リスク費用は 293 ベーシス・ポイント⁴ となり、極めて低水準 (39 ベーシス・ポイント⁴) であった 2008 年度第 2 四半期と比べ大幅に増加しました。この増加は、ウクライナと湾岸諸国のみで生じたもので、その他の地域での大幅増はありません。

税引前損失は 3900 万ユーロ (2008 年度第 2 四半期は 1 億 4700 万ユーロの利益) でした。

2009 年度上半期における 営業収益の増加割合 (9.0% 増) が営業費用の増加割合 (4.6% 増) を上回り、営業総利益が 16.7% 増加しました。リスク費用は急増して 268 ベーシス・ポイント⁴ (2008 年度上半期は 54 ベーシス・ポイント⁴) となり、エマージング・マーケット・リテール・バンキング部門の税引前利益をほぼゼロ (2008 年度上半期は 3 億 6600 万ユーロ) に押し下げました。

パーソナル・ファイナンス

パーソナル・ファイナンスの営業収益は 10 億 6300 万ユーロとなり、当四半期においても急増 (2008 年度第 2 四半期比 12.6% 増) しました。これは、連結残高の持続的成長 (7.2% 増)、借換費用のさらなる減少、および特定のパートナーシップにおける取引条件の改善によるものです。当業務部門は、2008 年度に実施されたコスト削減策のあらゆる効果享受したと判断し、新たなコスト削減策を開始しました。この結果営業費用は 0.4% 減少し、13 ポイントの正のジョーズ効果が生じました。また優れた営業収益牽引力と強力なコスト削減策のおかげで、営業総利益は 28.3% 急増しました。

景気後退や失業者の増加の影響を受け、リスク費用は、2008 年度第 2 四半期と比べて急増し、313 ベーシス・ポイント⁴ となりました。このため税引前利益は 1 億 3000 万ユーロ (2008 年度第 2 四半期は 1 億 7000 万ユーロ) となりました。

長期にわたる仲裁裁判が円満に解決され、パーソナル・ファイナンスは、現在 Intesa と 50% ずつ保有している持分を 75% に増やす (2 年から 4 年の間に持分を 100% に増やすというオプションあり) という方法で Findomestic の支配権を取得する予定です。この進展は、当グループが 4 つの国内市場の 1 つにおいてその存在感を高め、統合的な銀行モデルを展開し続けていくと共に、BNL とのシナジーを達成することに寄与します。

2009 年度上半期における営業収益は急増(13.6%増)し、営業費用は微増(1.6%増)に留まったため、営業総利益が 28.2%急増しました。リスク費用は 191 ベーシス・ポイント⁴から 301 ベーシス・ポイント⁴に増加しました。税引前利益は 2 億 4600 万ユーロ(2008 年度上半期は 3 億 7000 万ユーロ)でした。

エクイップメント・ソリューション

当四半期においても、当業務部門の営業収益の合計は中古車市場の不振の影響を受け、2008 年度第 2 四半期比 8.8%減の 2 億 5900 万ユーロとなりました。営業費用は 2.2%減少しました。リスク費用は、高水準であった 2008 年度第 2 四半期(延滞が生じているいくつかのリースについて設定した引当金が原因)と比べ 17.3%減の 4300 万ユーロとなりました。

税引前利益は 3500 万ユーロ(2008 年度第 2 四半期は 4900 万ユーロ)でした。

2009 年度上半期における営業収益は 17.1%減少し、営業費用は 2.0%減少しました。リスク費用が 38.2%増加したため、当業務部門の税引前利益は 1900 万ユーロ(2008 年度上半期は 1 億 3800 万ユーロ)にとどまりました。

コーポレート・センター

当四半期において、コーポレート・センターは当年度一回限りの費用項目として以下を計上しました。

BNP パリバ・フォルティスの買収に伴う負ののれんは 8 億 1500 万ユーロでした(詳しくは後述)。さらに、当グループはのれんについて減損テストを実施する決定を下しました。このテストにより、5 億 2400 万ユーロの減損費用が計上される予定です。

加えて、営業収益は、株式の評価損 4 億 4000 万ユーロ(うち 2 億 8200 万ユーロは、ウォン／ユーロ相場の継続的な下落に起因する新韓銀行株の評価損によるもの)と、当グループ自身の債務の再評価に伴うマイナス 2 億 3700 万ユーロの影響も受けました。

BNP パリバ・フォルティスの統合

5 月中旬に始まった BNP パリバ・フォルティスの統合は積極的に進められています。これまでに、新事業体の包括的な評価を伴う第 1 段階の作業が完了しました。現在実施されている第 2 段階の作業には、新組織の詳細を決定し、シナジーや事業再構築費用の正確な見積りを算出するため、あらゆる業務部門や領域の 200 超の作業グループが関与しています。事業計画は、12 月 1 日の投資家の日のイベントにて市場へ公表される予定です。

BNP パリバ・フォルティスのグループへの連結決算開始

国際財務報告基準(IFRS)に従い、BNP パリバ・フォルティスの全資産および負債は、BNP パリバの保守的な評価手法およびモデルに基づき算出された買収日現在の公正価値で連結されています。これらの公正価値調整額は、BNP パリバ・フォルティスの純持高に 62 億ユーロ(税引後の総額)のマイナスの影響を及ぼしています。これは、特に、のれんや無形資産の評価損合計、資産および負債の公正価値調整額(合計マイナス 41 億ユーロ)、信用リスクにかかる引当金繰入額(32 億ユーロ)を含んでいます。これらの調整の後に、BNP パリバ・フォルティスの全資産および負債と、外部移転ポートフォリオ(詳しくは後述)に伴う残余コミットメントを連結した結果、8 億 1500 万ユーロ⁸の負ののれんが生じました。IFRS 準拠の会計処理においては、こののれんは、損益計算書上で即時償却する必要があります。

高リスクなストラクチャード・クレジット商品資産(外部移転ポートフォリオ)は、新会社である Royal Park Investments に譲渡されました。このポートフォリオの純額(取引前にフォルティス・バンクは額面価額の 60%へ切り下げ済み)は 118 億ユーロです。最終的損失(より低くなるかもしれませんが)を除外することなく行われたパーチェス法による会計処理により、次のような新たな公正価値調整額が生じました。BNP パリバのファースト・ロス・トランシェに対するエクスポージャー(すなわち、合計 17 億ユーロのうちの 2 億ユーロ)は、セカンド・ロス・トランシェに対するエクスポージャーの大半と同様に全額損失処理されたため、約 2 億ユーロに減額されました(合計 52 億ユーロのうち)。この 2 億ユーロ以外の残りのエクスポージャーは、BNP パリバ・フォルティスが貸付けている 49 億ユーロのスーパー・シニア・トランシェで、このトランシェには手厚い担保が付いています。

BNP パリバ・フォルティスの貸借対照表に残ることとなる低リスクのストラクチャード・クレジット商品資産の額面価額(内部に残留するポートフォリオ)は 198 億ユーロで、公正価値調整後の純額は 166 億ユーロです。この結果、35 億ユーロのファースト・ロス・リスクは 3 億ユーロに減額されました。15 億ユーロのセカンド・ロス・トランシェにはベルギー政府の保証が付いています。この保証は、最終的損失がこのポートフォリオの 18%を超えた場合に履行されますが、その可能性は低と考えられています。

当グループの業績への初貢献

当グループの第 2 四半期の業績への BNP パリバ・フォルティスの初貢献は、買収日以降の限られた期間(5 月 12 日から 6 月 30 日までの期間)におけるものです。連結範囲は、BNP パリバ・フォルティスおよび BGL、また関連会社である AG Insurance Belgium の 25%を含んでいます。連結は、BNP パリバの会計基準および手法に準拠し、貸借対照表に対し修正を行う方法(パーチェス法による会計処理)に基づき処理されました。今回の連結は、当グループにおける初の連結だったため、比較財務情報は存在しません。

営業収益は 14 億 4100 万ユーロとなりました。この収益には、当期における市場パラメーターの改善に起因する単発の収益(2 億 4300 万ユーロ)と、パーチェス法による調整額の償却(1 億 3700 万ユーロ)が寄与しています。これらの項目に加え、リテール・ネットワークにおける好調なビジネスや、資本市場業務における好調な業績も営業収益を牽引しました。

営業費用は 6 億 9300 万ユーロで、営業総利益は 7 億 4800 万ユーロでした。リスク費用は 2 億 9500 万ユーロとなり、特にマーチャント・バンキング部門において引き続き高水準となりました。

⁸ IFRS 準拠の企業は、買収日から 1 年以内ののれんの最終的な額を決定します。このためこの額は、後日実施される可能性がある追加分析の結果を反映するため、翌四半期以降に調整される可能性があります。

た。税引前利益は 4 億 7400 万ユーロでした。税金と少数株主持分控除後の BNP パリバ・フォルティスのグループ帰属純利益は 2 億 6100 万ユーロでした。これらの業績は、別の情報から推定できるものではありません。また BNP パリバ・フォルティス単体の情報と比較することもできません。その理由は、これらの業績が、好調に推移した 5 月 12 日から 6 月 30 日までの期間における市場パラメーターの力強い回復により増加したパーチェス法による会計処理に伴う調整額による影響を含んでいるからです。

この好調な業績は、商業フランチャイズが安定化したため達成できたものです。ベルギーのリテール・バンキング部門における、2009 年度第 2 四半期の個人顧客からの純資産流入額の合計は 22 億ユーロ(今年度第 1 四半期は 17 億ユーロ)でした。ルクセンブルクのリテール・バンキング部門においては、2008 年度末現在保有していた資産の純流出が事実上停止しています。フォルティス・インベストメント・マネジメントにおける、第 2 四半期の運用資産額は 1590 億ユーロと安定推移しました。これは、資産流出の減少(当四半期は 60 億ユーロの流出、2009 年度第 1 四半期は 90 億ユーロの流出、2008 年度下半期は 200 億ユーロの流出)によるものです。プライベート・バンキング部門における運用資産額も 430 億ユーロと安定推移しました。

マーチャント・バンキング部門では、高いセールスおよびマーケティング牽引力のおかげで、ファイナンス業務において受取利息純額が増加しました。金利、為替、および株式デリバティブ業務は好調な業績を達成すると共に、市場リスクを減少させました。

ソルベンシーがさらに強化

流動性については、当グループの CDS スプレッドは銀行業界内で最も低く、このことはフォルティス買収時にも大きな競争力を当グループにもたらしました。今年度の期首以降、当グループは 280 億ユーロの中・長期債券を発行すると共に、中・長期債券発行プログラムの額を 300 億ユーロから 400 億ユーロに増やしました。新たな当グループの預貸率は 116%です。

2009 年 6 月 30 日現在の当グループの Tier 1 資本は 603 億ユーロで、2009 年 3 月 31 日比 158 億ユーロ増となりました。この増加のうち 10 億ユーロは、当四半期における株主資本の有機的増加によるものでした。8 億ユーロは、株式による配当の支払いによるものでした。また BNP パリバ・フォルティスの連結により、139 億ユーロの追加の Tier 1 資本が生じました。

BNP パリバは、リスク加重資産を 200 億ユーロ減らすという目標を 2009 年度第 1 四半期において既に達成しており、5040 億ユーロとしていました。第 2 四半期においては、新たに 190 億ユーロが削減され、このうち 110 億ユーロは資本市場業務におけるものでした。また BNP パリバ・フォルティスの連結により 1660 億ユーロ増加したため、当グループのリスク加重資産合計は、6 月 30 日現在で 6510 億ユーロとなりました。

6 月 30 日現在の当グループの **Tier 1 資本**は 9.3%(2009 年 3 月 31 日現在では 8.8%、2008 年 12 月 31 日現在では 7.8%)です。3 月 31 日と比べ 50 ベーシス・ポイント増加した理由は、当四半期における株主資本の有機的増加(20 ベーシス・ポイント増)、株式による配当の支払い(15 ベーシス・ポイント増)、リスク加重資産の減少(35 ベーシス・ポイント増)、および 2008 年 12 月 31 日以降 BNP パリバのレシオが急上昇したため BNP パリバ・フォルティスの連結の影響が 20 ベーシス・ポイントのマイナスとなったことによります。この強化されたソルベンシーにより、新たな局面に突入した当グループの安全マージンは、十分かつさらに改善されたものとなっています。当グループのビジネス・モデルに基づく当グループの中期的な目標はこれまで通りであり、7.5%超の Tier 1 比率を維持し続けることです。

以上の業績に対するコメントとして、BNP パリバのボードゥアン・プロ最高経営責任者は、次のように述べています。

「2009 年度第 2 四半期において、BNP パリバは新たな局面に突入すると同時に、引き続きそのビジネス・モデルの有効性を証明し、財務の健全性を高めました。

当グループの高い利益創出力は、セールスおよびマーケティングに従事するチームの牽引力やエネルギー、より高まったフランチャイズの魅力、また新たな環境への素早い適応力を反映しています。

BNP パリバの欧州における計画の実現に向けた重要な進展である BNP パリバ・フォルティスの連結は、積極的に進められています。この連結により、当グループは、ベルギーやルクセンブルクにおいて統合的な銀行モデルを展開することが可能になります。

流動性のアクセスにおける競争優位や、これまで以上に十分な値となったソルベンシー・レシオにより、新たな局面に突入した当グループは、現在の経済環境における課題に取り組んでいく上で好ましい立場を手に入れました。」

連結損益計算書

	2Q09	2Q08	2Q09/ 2Q08	1Q09	2Q09/ 1Q09	1H09	1H08	1H09/ 1H08
(単位：百万ユーロ)								
営業収益	9,993	7,517	+32.9%	9,477	+5.4%	19,470	14,912	+30.6%
営業費用および減価償却費	-5,818	-4,852	+19.9%	-5,348	+8.8%	-11,166	-9,457	+18.1%
営業総利益	4,175	2,665	+56.7%	4,129	+1.1%	8,304	5,455	+52.2%
リスク費用	-2,345	-662	n.s.	-1,826	+28.4%	-4,171	-1,208	n.s.
営業利益	1,830	2,003	-8.6%	2,303	-20.5%	4,133	4,247	-2.7%
関連会社損益	59	63	-6.3%	-16	n.s.	43	148	-70.9%
その他の営業外項目	281	9	n.s.	3	n.s.	284	354	-19.8%
営業外損益	340	72	n.s.	-13	n.s.	327	502	-34.9%
税引前利益	2,170	2,075	+4.6%	2,290	-5.2%	4,460	4,749	-6.1%
法人税	-376	-446	-15.7%	-658	-42.9%	-1,034	-1,016	+1.8%
少数株主損益	-190	-124	+53.2%	-74	n.s.	-264	-247	+6.9%
グループ帰属純利益	1,604	1,505	+6.6%	1,558	+3.0%	3,162	3,486	-9.3%
コスト／インカム率	58.2%	64.5%	-6.3 pt	56.4%	+1.8 pt	57.3%	63.4%	-6.1 pt

BNP パリバの 2009 年度第 2 四半期の財務開示物は、本プレスリリース、および本文書に添付してある表示物に含まれています。

法令上要求される開示物は全て、登録書類を含めて、<http://invest.bnpparibas.com> の「業績 (Results)」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典の第 L.451-1-2 条の条文および [訳補：フランス] 金融市場庁 (Autorité des Marchés Financiers) 一般規則の第 222-1 条以降の条文に従って BNP パリバが公表しています。

2009 年度第 2 四半期のコア事業の業績

(単位：百万ユーロ)	フランス国内 リテール・ バンキング事業	BNL bc	その他 リテール・ バンキング	BNP パリバ・ フォルティス	資産運用 および証券 管理事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行事業	各事業部門	その他	グループ 全体 (合計)
営業収益	1,462	714	2,310	1,441	1,207	3,351	9,044	-492	9,993
対前年同期比	+0.6%	+5.5%	+7.3%	n.s.	-13.5%	+80.9%	+20.1%	n.s.	+32.9%
対前四半期比	-0.6%	+0.6%	+0.9%	n.s.	+5.2%	-9.3%	-2.9%	n.s.	+5.4%
営業費用および減価償却費	-952	-426	-1,293	-693	-845	-1,467	-4,983	-142	-5,818
対前年同期比	-0.3%	+0.2%	+5.8%	n.s.	-2.5%	+16.8%	+5.5%	+11.8%	+19.9%
対前四半期比	+1.1%	+3.4%	+0.9%	n.s.	+3.0%	-17.1%	-4.6%	+16.4%	+8.8%
営業総利益	510	288	1,017	748	362	1,884	4,061	-634	4,175
対前年同期比	+2.2%	+14.3%	+9.2%	n.s.	-31.6%	n.s.	+44.7%	n.s.	+56.7%
対前四半期比	-3.6%	-3.4%	+0.9%	n.s.	+10.7%	-2.2%	-0.7%	n.s.	+1.1%
リスク費用	-130	-144	-998	-295	-23	-744	-2,039	-11	-2,345
対前年同期比	n.s.	+118.2%	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
対前四半期比	+46.1%	+34.6%	+9.3%	n.s.	+76.9%	+6.7%	+12.1%	+57.1%	+28.4%
営業利益	380	144	19	453	339	1,140	2,022	-645	1,830
対前年同期比	-17.7%	-22.6%	-95.9%	n.s.	-35.4%	n.s.	-5.6%	n.s.	-8.6%
対前四半期比	-13.6%	-24.6%	-80.0%	n.s.	+8.0%	-7.2%	-10.9%	n.s.	-20.5%
関連会社損益	0	0	9	23	6	0	15	21	59
その他の営業外項目	0	1	28	-2	-26	5	8	275	281
税引前利益	380	145	56	474	319	1,145	2,045	-349	2,170
対前年同期比	-17.9%	-22.5%	-88.4%	n.s.	-40.5%	n.s.	-6.6%	+203.5%	+4.6%
対前四半期比	-13.6%	-24.1%	-49.5%	n.s.	+5.6%	-6.8%	-10.0%	n.s.	-5.2%

(単位：百万ユーロ)	フランス国内 リテール・ バンキング事業	BNL bc	その他 リテール・ バンキング	BNP パリバ・ フォルティス	資産運用 および証券 管理事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行事業	各事業部門	その他	グループ 全体 (合計)
営業収益	1,462	714	2,310	1,441	1,207	3,351	9,044	-492	9,993
前年同期	1,454	677	2,153	0	1,396	1,852	7,532	-15	7,517
前四半期	1,471	710	2,290	0	1,147	3,696	9,314	163	9,477
営業費用および減価償却費	-952	-426	-1,293	-693	-845	-1,467	-4,983	-142	-5,818
前年同期	-955	-425	-1,222	0	-867	-1,256	-4,725	-127	-4,852
前四半期	-942	-412	-1,282	0	-820	-1,770	-5,226	-122	-5,348
営業総利益	510	288	1,017	748	362	1,884	4,061	-634	4,175
前年同期	499	252	931	0	529	596	2,807	-142	2,665
前四半期	529	298	1,008	0	327	1,926	4,088	41	4,129
リスク費用	-130	-144	-998	-295	-23	-744	-2,039	-11	-2,345
前年同期	-37	-66	-471	0	-4	-86	-664	2	-662
前四半期	-89	-107	-913	0	-13	-697	-1,819	-7	-1,826
営業利益	380	144	19	453	339	1,140	2,022	-645	1,830
前年同期	462	186	460	0	525	510	2,143	-140	2,003
前四半期	440	191	95	0	314	1,229	2,269	34	2,303
関連会社損益	0	0	9	23	6	0	15	21	59
前年同期	1	1	21	0	11	0	34	29	63
前四半期	0	0	14	0	-8	-2	4	-20	-16
その他の営業外項目	0	1	28	-2	-26	5	8	275	281
前年同期	0	0	0	0	0	13	13	-4	9
前四半期	0	0	2	0	-4	2	0	3	3
税引前利益	380	145	56	474	319	1,145	2,045	-349	2,170
前年同期	463	187	481	0	536	523	2,190	-115	2,075
前四半期	440	191	111	0	302	1,229	2,273	17	2,290
法人税					-104				-376
少数株主損益					-109				-190
グループ帰属純利益				261					1,604

2009 年度上半期のコア事業の業績

(単位：百万ユーロ)	フランス国内 リテール・ バンキング事業	BNL bc	その他 リテール・ バンキング	BNP パリバ・ フォルティス	資産運用 および証券 管理事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行事業	各事業部門	その他	グループ 全体 (合計)
営業収益	2,933	1,424	4,600	1,441	2,354	7,047	18,358	-329	19,470
対前年同期比	+0.8%	+5.4%	+8.0%	n.s.	-11.5%	n.s.	+28.0%	n.s.	+30.6%
営業費用および減価償却費	-1,894	-838	-2,575	-693	-1,665	-3,237	-10,209	-264	-11,166
対前年同期比	-0.3%	+0.0%	+6.2%	n.s.	-2.7%	+46.6%	+12.4%	-29.6%	+18.1%
営業総利益	1,039	586	2,025	748	689	3,810	8,149	-593	8,304
対前年同期比	+2.9%	+14.2%	+10.2%	n.s.	-27.2%	n.s.	+54.9%	n.s.	+52.2%
リスク費用	-219	-251	-1,911	-295	-36	-1,441	-3,858	-18	-4,171
対前年同期比	n.s.	+67.3%	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
営業利益	820	335	114	453	653	2,369	4,291	-611	4,133
対前年同期比	-13.1%	-7.7%	-88.4%	n.s.	-31.0%	n.s.	+5.9%	n.s.	-2.7%
関連会社損益	0	0	23	23	-2	-2	19	1	43
その他の営業外項目	0	1	30	-2	-30	7	8	278	284
税引前利益	820	336	167	474	621	2,374	4,318	-332	4,460
対前年同期比	-13.2%	-7.7%	-85.4%	n.s.	-35.7%	n.s.	+1.5%	n.s.	-6.1%
法人税				-104					-1,034
少数株主損益				-109					-264
グループ帰属純利益				261					3,162
年率換算の 税引後株主資本利益率									11.8%

四半期決算

	1Q08	2Q08	3Q08	4Q08	1Q09	2Q09
(単位：百万ユーロ)						
グループ事業						
営業収益	7,395	7,517	7,614	4,850	9,477	9,993
営業費用および減価償却費	-4,605	-4,852	-4,635	-4,308	-5,348	-5,818
営業総利益	2,790	2,665	2,979	542	4,129	4,175
リスク費用	-546	-662	-1,992	-2,552	-1,826	-2,345
営業利益	2,244	2,003	987	-2,010	2,303	1,830
関連会社損益	85	63	120	-51	-16	59
その他の営業外項目	345	9	36	93	3	281
税引前利益	2,674	2,075	1,143	-1,968	2,290	2,170
法人税	-570	-446	-101	645	-658	-376
少数株主損益	-123	-124	-141	-43	-74	-190
グループ帰属純利益	1,981	1,505	901	-1,366	1,558	1,604

	1Q08	2Q08	3Q08	4Q08	1Q09	2Q09
(単位：百万ユーロ)						
フランス国内リテール・バンキング(フランス国内プライベート・バンキングの 100%を含む)						
営業収益	1,521	1,516	1,470	1,442	1,524	1,516
うち受取利息純額	827	819	831	821	876	865
うち手数料	694	697	639	621	648	651
営業費用および減価償却費	-975	-985	-1,011	-1,012	-970	-980
営業総利益	546	531	459	430	554	536
リスク費用	-29	-37	-40	-97	-89	-130
営業利益	517	494	419	333	465	406
営業外損益	0	1	-1	1	0	0
税引前利益	517	495	418	334	465	406
資産運用および証券管理事業帰属利益	-35	-32	-28	-22	-25	-26
フランス国内リテール・バンキング税引前利益	482	463	390	312	440	380
PEL/CEL の影響を除くフランス国内リテール・バンキング(フランス国内プライベート・バンキングの 100%を含む)						
営業収益	1,520	1,514	1,465	1,444	1,528	1,530
うち受取利息純額	826	817	826	823	880	879
うち手数料	694	697	639	621	648	651
営業費用および減価償却費	-975	-985	-1,011	-1,012	-970	-980
営業総利益	545	529	454	432	558	550
リスク費用	-29	-37	-40	-97	-89	-130
営業利益	516	492	414	335	469	420
営業外損益	0	1	-1	1	0	0
税引前利益	516	493	413	336	469	420
資産運用および証券管理事業帰属利益	-35	-32	-28	-22	-25	-26
フランス国内リテール・バンキング税引前利益	481	461	385	314	444	394
フランス国内リテール・バンキング(フランス国内プライベート・バンキングの 3分の 2 を含む)						
営業収益	1,456	1,454	1,415	1,392	1,471	1,462
営業費用および減価償却費	-945	-955	-984	-984	-942	-952
営業総利益	511	499	431	408	529	510
リスク費用	-29	-37	-40	-97	-89	-130
営業利益	482	462	391	311	440	380
営業外損益	0	1	-1	1	0	0
税引前利益	482	463	390	312	440	380

	1Q08	2Q08	3Q08	4Q08	1Q09	2Q09
(単位：百万ユーロ)						
BNL バンカ・コメルシアーレ(イタリア国内プライベート・バンキングの 100%を含む)						
営業収益	680	685	710	725	715	721
営業費用および減価償却費	-417	-430	-432	-478	-416	-431
営業総利益	263	255	278	247	299	290
リスク費用	-84	-66	-114	-147	-107	-144
営業利益	179	189	164	100	192	146
営業外損益	0	1	0	0	0	1
税引前利益	179	190	164	100	192	147
資産運用および証券管理事業帰属利益	-2	-3	0	0	-1	-2
BNL bc の税引前利益	177	187	164	100	191	145
BNL バンカ・コメルシアーレ(イタリア国内プライベート・バンキングの 3分の2を含む)						
営業収益	674	677	705	719	710	714
営業費用および減価償却費	-413	-425	-427	-472	-412	-426
営業総利益	261	252	278	247	298	288
リスク費用	-84	-66	-114	-147	-107	-144
営業利益	177	186	164	100	191	144
営業外損益	0	1	0	0	0	1
税引前利益	177	187	164	100	191	145
BNP パリバ・フォルティス						
営業収益						1,441
営業費用および減価償却費						-693
営業総利益						748
リスク費用						-295
営業利益						453
営業外損益						-2
税引前利益						474
法人税						-104
少数株主損益						-109
グループ帰属純利益						261
バンクウエスト						
営業収益	509	485	433	600	558	544
営業費用および減価償却費	-261	-247	-263	-299	-309	-316
営業総利益	248	238	170	301	249	228
リスク費用	-101	-123	-121	-283	-279	-299
営業利益	147	115	49	18	-30	-71
営業外損益	4	0	1	-1	1	1
税引前利益	151	115	50	17	-29	-70
パーソナル・ファイナンス						
営業収益	912	944	968	968	1,045	1,063
営業費用および減価償却費	-503	-517	-518	-563	-521	-515
営業総利益	409	427	450	405	524	548
リスク費用	-230	-274	-330	-384	-421	-461
営業利益	179	153	120	21	103	87
関連会社損益	21	17	18	28	12	17
その他の営業外項目	0	0	-1	110	1	26
税引前利益	200	170	137	159	116	130

	1Q08	2Q08	3Q08	4Q08	1Q09	2Q09
(単位：百万ユーロ)						
エマージング・リテール・バンキング						
営業収益	403	440	495	558	475	444
営業費用および減価償却費	-262	-276	-289	-319	-279	-284
営業総利益	141	164	206	239	196	160
リスク費用	-36	-22	-43	-276	-162	-195
営業利益	105	142	163	-37	34	-35
関連会社損益	3	5	5	1	6	-5
その他の営業外項目	111	0	40	-4	0	1
税引前利益	219	147	208	-40	40	-39
エクイップメント・ソリューション						
営業収益	284	284	274	225	212	259
営業費用および減価償却費	-176	-182	-179	-179	-173	-178
営業総利益	108	102	95	46	39	81
リスク費用	-16	-52	-39	-48	-51	-43
営業利益	92	50	56	-2	-12	38
関連会社損益	-3	-1	0	-11	-4	-3
その他の営業外項目	0	0	0	-1	0	0
税引前利益	89	49	56	-14	-16	35
資産運用および証券管理						
営業収益	1,263	1,396	1,205	1,071	1,147	1,207
営業費用および減価償却費	-845	-867	-855	-856	-820	-845
営業総利益	418	529	350	215	327	362
リスク費用	4	-4	-206	-1	-13	-23
営業利益	422	525	144	214	314	339
関連会社損益	8	11	-8	-3	-8	6
その他の営業外項目	0	0	-2	-1	-4	-26
税引前利益	430	536	134	210	302	319
資産管理(富裕層向け資産運用業務)						
営業収益	600	662	568	543	548	607
営業費用および減価償却費	-440	-448	-431	-436	-418	-430
営業総利益	160	214	137	107	130	177
リスク費用	2	0	-10	-16	-4	-23
営業利益	162	214	127	91	126	154
関連会社損益	0	3	1	0	-2	2
その他の営業外項目	0	0	0	1	-4	0
税引前利益	162	217	128	92	120	156
保険						
営業収益	353	392	368	205	299	303
営業費用および減価償却費	-173	-181	-182	-175	-170	-181
営業総利益	180	211	186	30	129	122
リスク費用	2	-4	-41	-2	-8	-1
営業利益	182	207	145	28	121	121
関連会社損益	8	8	-10	-3	-6	4
その他の営業外項目	0	0	-2	-1	0	-26
税引前利益	190	215	133	24	115	99

	1Q08	2Q08	3Q08	4Q08	1Q09	2Q09
(単位：百万ユーロ)						
証券管理						
営業収益	310	342	269	323	300	297
営業費用および減価償却費	-232	-238	-242	-245	-232	-234
営業総利益	78	104	27	78	68	63
リスク費用	0	0	-155	17	-1	1
営業利益	78	104	-128	95	67	64
営業外損益	0	0	1	-1	0	0
税引前利益	78	104	-127	94	67	64
コーポレートバンキング・投資銀行						
営業収益	1,311	1,852	2,058	-248	3,696	3,351
営業費用および減価償却費	-952	-1,256	-989	-514	-1,770	-1,467
営業総利益	359	596	1,069	-762	1,926	1,884
リスク費用	-54	-86	-1,032	-1,305	-697	-744
営業利益	305	510	37	-2,067	1,229	1,140
関連会社損益	1	0	0	0	-2	0
その他の営業外項目	12	13	1	-1	2	5
税引前利益	318	523	38	-2,068	1,229	1,145
アドバイザーおよびキャピタルマーケット						
営業収益	708	1,139	1,368	-1,149	2,920	2,641
うち株式会社およびアドバイザー	316	750	492	-1,899	33	710
うちフィクスト・インカム	392	389	876	750	2,887	1,931
営業費用および減価償却費	-662	-955	-695	-295	-1,485	-1,178
営業総利益	46	184	673	-1,444	1,435	1,463
リスク費用	-94	-43	-909	-1,076	-277	-297
営業利益	-48	141	-236	-2,520	1,158	1,166
関連会社損益	1	0	0	0	-2	0
その他の営業外項目	12	12	1	0	2	5
税引前利益	-35	153	-235	-2,520	1,158	1,171
ファイナンス業務						
営業収益	603	713	690	901	776	710
営業費用および減価償却費	-290	-301	-294	-219	-285	-289
営業総利益	313	412	396	682	491	421
リスク費用	40	-43	-123	-229	-420	-447
営業利益	353	369	273	453	71	-26
営業外損益	0	1	0	-1	0	0
税引前利益	353	370	273	452	71	-26
コーポレート・センター(BNP パリバ・キャピタルおよびクレピエールを含む)						
営業収益	583	-15	61	-435	163	-492
うち BNP パリバ・キャピタル	135	44	3	-30	115	-74
営業費用および減価償却費	-248	-127	-131	-122	-122	-142
うち BNL 事業再構築費用	-146	-20	-19	-54	-5	0
うちフォルティス事業再構築費用	0	0	0	0	0	-20
営業総利益	335	-142	-70	-557	41	-634
リスク費用	0	2	-67	-11	-7	-11
営業利益	335	-140	-137	-568	34	-645
関連会社損益	55	29	106	-67	-20	21
その他の営業外項目	218	-4	-3	-9	3	275
税引前利益	608	-115	-34	-644	17	-349

目次

純利益が 16 億ユーロに達し、当グループの優れた利益創出力を証明	2
極めて好調な業績	2
コーポレートバンキング・投資銀行(CIB)事業部門	2
資産運用および証券管理事業部門	4
リテール・バンキング	4
BNP パリバ・フォルティスの統合	8
ソルベンシーがさらに強化	10
連結損益計算書	12
2009 年度第 2 四半期のコア事業の業績	13
2009 年度上半期のコア事業の業績	14
四半期決算	15
目次	19

本表示物に含まれる数値は、未監査の数値です。

本表示物には、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。予測的な記述には、財務上の見積りおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNP パリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNP パリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルもしくは BNP パリバの主要地域市場における経済状況の変化、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本表示物に含まれる予測的な記述は本表示物発行日現在の予測であり、BNP パリバは、新しい情報や将来の事象によって予測的な記述を公に修正もしくはアップデートする責任を負いません。

本表示物に含まれる BNP パリバ以外の第三者に関わる情報もしくは外部の情報源から入手した情報は、個別に真実たることを確認したものではなく、ここに記載の情報や意見に関して、表示または保証を表現あるいは示唆してはならず、またその正当性、精密性、完全性または正確性については確実なものではありません。BNP パリバもしくはその代表者ともいかなる落ち度に対しても責任を負わず、また本表示物あるいはその内容の使用により生ずる、もしくは本表示物やここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。